

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	121	豊田市立 藤岡中 学校	代表	山田 圭
------	-----	-------------	----	------

テーマ	令和時代を生き抜く藤中生の育成	分野	b	地域連携
	サブテーマ	地域に貢献し、地域とともに活動する藤中生	(その他)は分野を右欄に記入	
学校づくりの視点(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校・地域のボランティア活動を通して、環境美化・保護に努めようとする意欲を高める。</li> <li>○ 花を育てることにより、命の大切さを感じ、美しい環境と豊かな心を育てるとともに、学校・地域を花でいっぱいできるように、地域に根ざし、地域に貢献できる活動を展開する。</li> <li>○ 「フジバカマ花壇の整備」「藤棚の管理」などを実施することで、地域との交流を深め、地域を愛する心を育てる。また、地域の教育力を学校教育に生かす活動を企画・実施する。</li> <li>○ 生徒が心豊かに健やかな学校生活を行えるよう心の相談員を配置するとともに、校内はあと라운ジの環境整備を継続する。</li> </ul>			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域学校共働本部を通して、「地域で活躍する人の話を聞く会」や「職場見学」などを行うことで、地域住民の力を学校教育に積極的に取り入れる。</li> <li>○ 各種活動状況を、学校だよりやホームページを通じて地域に発信する。</li> <li>○ 在校生徒が花を感じられる場所で、植え替えや管理を行う。(年間)</li> <li>○ 地域の方々の経験や知見を参考にした藤の剪定</li> <li>○ 総合的な学習の時間に取り組む「フジバカマとアサギマダラの保護育成活動」(年間)</li> <li>○ 卒業式に向けた花のある行事づくり(2～3月)</li> <li>○ 生徒ボランティアによる環境整備を行う。</li> <li>○ 校内はあと라운ジの環境を整える。</li> <li>○ 校内に自生するササユリを保護する。</li> </ul>			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内整備員</li> </ul>			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者にも除草作業などに参加してもらうことにより、学校・地域の一体感を高めていくことが期待できる。</li> <li>○ 生徒が地域で行う活動(ボランティア活動等)と地域の方が来校して行う活動(地域講師等)、それら双方向の活動を実施することを通して、生徒たちは地域の方の願いや思いにふれ、地域を愛する心が育つと考える。また、地域の方々が、学校教育活動に手を差しのべていただけると考える。</li> <li>○ 地域が取り組む活動に、中学生も関わることで、地域や自己を大切にすることを育むことにつながると考える。</li> <li>○ 本校独自の自然環境を保護することで、自然を愛する心を育む。</li> <li>○ 生徒の心の変容を的確につかむことができ、悩みを抱える生徒への早期対応・解決ができると考える。また、いじめの早期発見・対応にもつながると考える。</li> </ul>			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価アンケートから、取組に関する効果を検証する。</li> <li>○ 学校アドバイザー、PTA役員の方から、取組に関する評価をいただき、改善に努める。</li> </ul>			